

WADAIKO 遙 TOKARA

2013年 9月

TOKARA 公演情報

2013年

- 10月19～24日：ジャパンウィーク～ポーランド ポズナン会場 Teatr Wielki オペラ座
- 10月30日(水)：風越～ドイツ モンチングラッバック2014年
- 5月2日(金)：風越～カナダ ケローナ
- 6月28日(土)：幸い下伊那和太鼓フェスティバル～長野県 飯田市会場 飯田市公民館
- 7月6日(日)：風越～愛知県 名古屋市 会場 名古屋市北文化小劇場
- 25日(金)：風越～長野県 伊那市 会場 いなっせ
- 26日(土)：風越～岐阜県 高山市 会場 高山市芸術堂
- 27日(日)：典藝～岐阜県 群上市 会場 日本まん真ん中センター

“ザ” エディンバラ フリンジ!!!!

ディーン ハビクスベック 著
いちせ ゆかり 訳

皆さんこんにちは。9月版トカラニュース
レターへようこそ。今回は8月1日から26日
まで毎日演奏したエディンバラ フリンジ
フェスティバルでの私達の奮闘記です。“奮
闘”と言いましても、本当に何ともすこぶる
楽しい時間であった事は言うまでもありま
せん。毎日演奏会場へ通った時間も、メイ
ンストリート「ローヤルマイル」でPRのた
めに演奏した(と言っても太鼓の音が大き
すぎたため、ステージの床を叩いて演奏す
る始末でしたが...笑)時間も、エディンバラの街
を散策してまわった時間も、期間中とめどなく続いたチラシ配りとポスター貼りの時間も、掛け替えの
ない素晴らしい経験でした。そして私達の奮闘したこの1ヶ月も、一瞬にして大空をかけ走る稲妻のよう
に怒涛の如く過ぎ去って行きました。



演奏への道すがら PR PR...



ローヤルマイルでチラシ配り



曲の合間にお話中

す。観客の皆さんもこの小さな彼の大会説に大盛り上がりで、会場にとっても暖かい笑いが溢れた一幕でした。もう一つのエピソードです。私達が最後に演奏させて頂く「波頭の響き」の彼のソロでは、観客の皆様と手拍子で掛け合う場所があります。その途中、彼は眉毛をクニョクニョっと動かして見せるんです。それがなんとも滑稽なのですが、実は彼がこの技をし続ける隠れた目的があるのです。それは、同じ技が出来る人を探すこと。そして長年探し求め続けて来たのです。が何と！いたんですっ！お客様の中に！アートリー、人生で初めての出会いに、大興奮のようでした。

お次は“Wild Child”こと、いちせゆかりです。彼女の最も印象に残った時間。フリンジ初日、私達は突然、演奏前のステージのセットアップに与えられた時間が5

勿論、この1ヶ月に募った話はてんこ盛りです。その全てのエピソードを語ったら、まるで小説のように長くなってしまいそうなので、今回はメンバーそれぞれに期間中最も印象に残った出来事を選んでもらいました。皆様にもこのフリンジでの時間を垣間見て頂けたら光栄です。

トップバッターは我らがリーダー、先生、芸術監督でもあるアートリーからいってみたいと思います。ある日、シンガポールからみえた家族に小さな男の子がいました。最前列に座りノリノリで一曲が終わりましたが、興奮が収まりません。大興奮冷めやらず話すことも止まりません。と言ってもこの男の子、まだはっきりと話ができるほど大きくないので、何を言っているのか親御さんも分からなければ、もちろんお客様も私達もさっぱり分からないのです。でもそのトーンと口ぶりから彼の興奮ぶりが伝わってきます。アートリーのMCトークに加わって二人で会話が始まる始末で



エディンバラ城を背に

分と知りました。ここで少し説明させてください。フリンジでは多くのパフォーマーが同じ劇場を共有します。一日に1時間ほどの演目が入れ替わり立ち代りステージに上がるのです。そのため私達が劇場に入れる時間も制限されているという訳

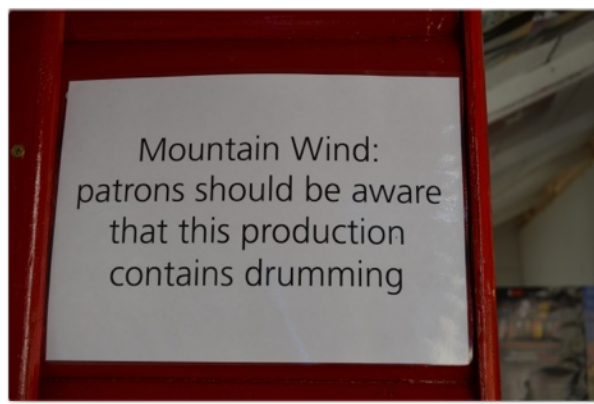
健康と安全性
がとりだたされるご時世、
チケット売場の脇にはこんな
貼り紙が...「風越: お客様へ、
この演目には太鼓の演奏が含まれて
います。」(間接的に、大きな音な
のでご注意ください。
と伝えている。)



最初の一打の正にその瞬間

も国籍も経験も全て違いますが、太鼓に向かう気持ちは一緒です。何事にもプロフェッショナル根性で臨む。出来ないと諦める事は簡単です。でもやってみることに価値がある。何を言わなくてもこの時この5分間に自分たちがやらなくてはならないことが各々明確でした。そして連携プレーと集中力でこのタスクをやったのけることが出来たのです!! これには劇場スタッフもビックリ! 自分たちでさえ、正直ビックリです。メンバー同士の信頼と太鼓とグループへの偽り無い忠誠心を無言で実感し共有した5分でした。

次は小野澤貴史の番です。彼のお気に入りの出来



です。がっ、しかし、5分です!!! 長胴太鼓6個と締め太鼓4個と大太鼓1個...全てがステージ袖にしまわれています。しかもカバーに入ったまま....。これを全て運び出し、ケースから出して台にセットし、バチもそれぞれにセットし、自分たちもスタンバイの位置に着かなくてはなりません。それに与えられた時間が、5分!!なのです。不可能に近いです。メンバー全員、目が点です。“えっ5分...”一瞬真っ白になりそうな頭を奮起して、合言葉は「やるしかねえ~!!」。無言のままメンバー全員の心が一つになった瞬間でした。この5分。1ヶ月公演の全てが終わって振り返ると、この初日の5分が今の私達の全てだと感じます。本当に太鼓が、トカラが好きで集まったメンバー4人です。性格も年齢も性別



路上ライブ歌手のピーターさん
ギターにはトカラのチラシが



路地で見つけた YES! TOKARA

客様が椅子の上で飛び跳ねます。その様子がステージ上から良く拝見出来るので、失礼ながら何とも滑稽で、期間中私達はこの最初の一打を大いに楽しませて頂きました。

さて次は、我らがスーパーシッター、萌ハビクスベック。彼女のお気に入りの時間は、スコットランドの天気もエディンバラの町並みも楽しみながら、Meadowsの広い公園でジャンダーラとトーヴェンと3人遊びまわることでした。

最後に私ディーン ハビクスベックの番で

す。私の出来事はとても悲惨で同時に信じられない程嬉しい出来事でした。というのも、忘れもしない8月18日、演奏が終わり、やはり5分しか与えられないステージからの撤収も済ませ、いざ帰路に着こうとした時、その事件は起きたのです。何と私のバッグが見当たりません。楽屋に置いてあった私のバッグだけ誰かに持ち去られたのです。貴重品こそ入っていなかったものの、何とこの日に限ってレンタカーの鍵が入っていたのです。どうしてタイミングというものはこうも意地悪なのでしょう!? 警察に連絡をし、レンタカー会社に連絡をし、万が一に備えレンタカーをレッカーして頂き、劇場と掛け合い...不運の代償とは大きなものです。一瞬の出来事で多くのエネルギーを使う羽目となりました。そして数日が過ぎ、落胆から這い上がって来た、ちょうど5日目の朝です。劇場からの連絡で隣のホステルの庭か

事は、この1ヶ月ほぼ毎日目の当たりにした一瞬です。それは演奏の最初の一打の“ドンッ”で起きました。実際の映像が[こちら](#)に有ります。(注; もし実体験をご希望でしたら、スピーカーのボリュームを最大にセットしてからお試しくださいませ。)ここで少し私達が演奏した劇場について説明させていただきます。CToo というこの劇場、エディンバラ城の裏手、普段はセント・コロンビア教会の地下、収納スペースとして使われている場所です。それがフリンジのお祭りの期間中だけ劇場に早変わり。カーテンとベニヤで区切られ、特設で組み立てられたポールにスポットライトが下がります。客席に張り出したスペースを囲むように正面左右に合計150の席が並びステージは完成です。私達の太鼓がそのステージに並ぶと、最前列との距離は1メートルも有りません。窓は無く出口は左右に一つずつ。ここで私達4人で揃って“ドンッ”と打つわけです。大きな音の振動が一気にお客様に伝わります。余りの大きさに多くのお



MIZUKAGAMI 演奏中



グレッタさんも、路地でPR

ら私のバッグが見つかったと知りました。何という幸運!! バッグの中身もほぼ全て私の元へ帰ってきました。勿論、あのレンタカーの鍵も!!! この日、8月の23日の公演は、私がこの1ヶ月で最も元気だった公演に間違いありません。帰ってきたバッグの中身を確認め一つ一つ取り出しては、クリスマスが来たような幸福感を味わいました。特に自分でもバッグに入っていたことさえ忘れていた大切なものたちが戻ってきたのです。とはいえ何とも言い難い経験でした。

そして後半の6日間、私達はベルギー、フェニックス太鼓のグレッタ モートガットさんを迎

え最終日26日まで演奏を続けました。今回4回目となったエディンバラフリンジフェスティバル、多くの波乱万丈と共に無事公演をやり遂げることが出来ました。

次の日には早速荷作りをし次なる目的地へ出発です。2日間の移動、6つの国を抜け、トカラ風越ヨーロッパツアー後半の拠点、ドイツに到着です。ワークショップにコンサートにと盛り沢山で私達を待っています。スケジュールに詳細が載っています。私達が近くに伺う際は是非会いに来てくださいね。では、また!



来場下さったお客様がスケッチを描いて下さいました

www.sandysdrawingroom.com

TOKARA

2013年 アート・リー 芸歴20周年と2014年TOKARA結成10周年を記念し、2年間にわたり世界12か国を横断する世界ツアー“風越”。

私たち 和太鼓TOKARA の拠点、長野県飯田市に、風越山（ふうえつざん）という山があります。風が越えてくる山。風越（かざこし）。早朝、風に運ばれた霧が谷へ流れ込む情景は、山が羽衣を纏ったかの様に、厳かで美しいものです。

山脈の連なる長野県伊那谷の南に位置する飯田の地で、皆様に支えられ、新しいステージを作り上げ、練習を積み、また次の公演へと旅立つ。海外での公演ツアーが増えるこの数年、私たち TOKARAのエネルギーの原点がここに 있습니다。

風雨に耐え、堂々と美しく聳え立つこの山の様に、それぞれの節目の年を越え、これからも力強く太鼓人生を歩んでいきます。

和太鼓 TOKARA の色として、私たちがこれまで作り上げてきた力強く流れる様な身体表現と、様々なリズムを融合したジャズの様でもある音楽の世界を、ぜひ体感して頂ければと思います。

和太鼓TOKARAのステージは、伝統的な和太鼓に、中国武術、舞踊の流れるような曲線的動作を取り入れた独自の振り付けと、その驚異的なスピードとパワーが融合し、観る者を虜にする。常に新しい楽曲演奏スタイルを探求し、全く新しいTOKARA流パフォーマンスを創り上げる。世界の様々なリズムを取り入れ、複雑に重なりあったリズムが創り出す斬新な音楽は、ジャズの様でもあり、聴く者を魅了する音楽性の高さが注目されている。

リーダー兼 芸術監督であるアート・リーは、現在の太鼓界をリードするトップ奏者の一人として活躍。2001年、ソロ奏者として、世界で初めて日本政府より芸術ビザを取得。以来、現在に至るまで唯一の外国籍和太鼓アーティストとして日本はもとより、世界に活動の場を広げる。又2005年には、最も権威ある『東京国際和太鼓コンテスト・大太鼓部門』において、外国人初、唯一となる最優秀賞を受賞。

“風越” 日本ツアーの詳細は: www.tokara.net/kazakoshi



Photos by Junko Sasaki and Nadia Cammets

愛知県 名古屋市

市北文化小劇場

7月6日(日)

●開場14:30 開演15:00

【料金】一般2500円 子供1500円
(当日500円増) 全席自由

●会場情報

名古屋市北区志賀町4丁目60番地の31
TEL:052-910-3366

長野県 伊那市

生涯学習センター(いなっせ)

7月25日(金)

●開場18:30 開演19:00

【料金】一般2500円 子供1500円
(当日500円増) 全席自由

●会場情報

長野県伊那市荒井3500番地1 5階
TEL:0265-78-5801

岐阜県 高山市

飛騨芸術堂

7月26日(土)

●開場18:00 開演18:30

【料金】一般2500円 子供1500円
(当日500円増) 全席自由

●会場情報

岐阜県高山市千鳥町900-1
TEL:0577-37-6111

長野県 飯田市

文化会館 人形劇場

8月23,24日

●開場18:00 開演18:30

【料金】一般2500円 子供1500円
(当日500円増) 全席自由

●会場情報

長野県飯田市高羽町5丁目5-1
TEL:0265-23-3552

[チケット] TOKARA 事務所 Tel: 0265-59-8768 | メール: info@tokara.net

WADAIKO 遙 TOKARA



お問い合わせ

和太鼓TOKARA

395-0826長野県飯田市

松尾水城3598 B-202

TEL/FAX: 0265-59-8768

Email: info@tokara.net

もしくは

wadaiko.tokara.japan@gmail.com

ウェブサイト: www.tokara.net

これ迄のニュースレターをご希望の方は

[Tokara Newsletter subscription site](#)

皆様のご声援

本当にありがとうございます。

TOKARAメンバー一同、益々精進して

参ります。今後ともどうぞよろしく

お願い申し上げます。

和太鼓アーティスト アート・リー

和太鼓TOKARA

初CD

「Toward the Undiscovered Country~

未知の世界へ~」

収録曲数 8曲 収録時間 58分

リンクと試聴

<http://www.tokara.net/info/ttuccd-jp.html>

初DVD

「天地神明」

収録曲数 7曲 収録時間 58分

好評発売中！

その他、販売グッズの詳細は

[http://www.wadaiko-tokara.net/
tokaramerchandisej.html](http://www.wadaiko-tokara.net/tokaramerchandisej.html)

以下にリンクして頂けますと、ツアーの様子
などが動画や写真でご覧頂けます。

Performance Schedule

Tokara on YouTube

Tokara on Facebook

Tokara on Twitter